

特集 但馬牛子牛の発育調査と育成技術指導

はじめに

但馬牛は、優れた肉質と卓越した遺伝力を有し、和牛の改良基礎牛として全国の肉用牛改良をリードしてきた。

また、神戸ビーフをはじめ、高級銘柄牛肉の肥育素牛として高い評価を得るなど、子牛価格においても優位性を発揮してきた。

しかしながら、景気の長期低迷による高級牛肉需要の停滞などにより子牛価格が落ち込み、繁殖経営から離脱する農家も増加し、品質向上や低コスト化が大きな課題となっている。

このような情勢の中で、県では県内の生産から流通・消費に至る各界の意見を集約して「兵庫県肉用牛振興ビジョン」を策定し、今後の但馬牛の育種改

良や生産振興対策を積極的に推進することとした。

特に、子牛の育成に関しては、子牛価格に直接反映され、肥育牛の発育や枝肉価格との関連が強く、肥育経営に及ぼす影響も大きいことから飼養管理技術の改善、普及定着を図ることに重点を置いている。

これを踏まえ、県の指導機関はもとより民間の技術者を含めた指導者の技術力の向上や統一的な指導を実施するために各機関は密接な連携を図りながら取り組んでいかなければならない。

幸いにも昨秋以降、子牛価格が回復し、繁殖農家の生産意欲も高まってきているが、4月からは農協合併や子牛市場の一部統合も予定されており、県の指導機関としての役割はこれまで以上に重要になってくる。 倉橋 準典（北部農技・畜産部）